

インドネシアで石油化学プラントを受注

2017年9月5日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリンググループ(TOYO)は、インドネシア最大の石油化学会社チャンドラアスリ・ペトロケミカル (CAP) から、ジャワ島西部チレゴンの同社石化コンプレックス内に新設するポリエチレン製造設備の建設プロジェクトを受注しました。本プロジェクトは年産 40 万トンのポリエチレン製造設備で、高密度ポリエチレン (HDPE)、直鎖状低密度ポリエチレン (LLDPE)、メタロセン直鎖状低密度ポリエチレン (mLLDPE) を生産します。

東洋エンジニアリング株式会社 (Toyo-Japan、取締役社長 中尾 清) 及び韓国子会社のトーヨーコーリア (Toyo-Korea、社長 小山内 亨) はインドネシア国外での詳細設計と調達業務を、インドネシア子会社のイーカーパーター (IKPT、社長 細井 栄治) はインドネシア国内調達と建設工事一括を各々受注し、プラントの完工は 2019 年を予定しています。

本プロジェクトは年初に Toyo-Korea が受注した FEED 業務に引き続く EPC プロジェクトであり、TOYO のこれまでの CAP との長期的な良好な関係及び FEED 実施中の各種提案が高く評価され受注に至ったものです。

TOYO は CAP 向けに 1990 年代にはエチレン製造設備、2000 年代後半にはブタジエン製造設備、エチレン生産能力増強プロジェクトの実績があり、現在シンセティック・ラバー・インドネシア (仏ミシュランと CAP 子会社との合併会社) 向けに年産 12 万トンの合成ゴム製造設備を、また CAP の子会社であるペトロケミヤ・ブタジエン・インドネシア向けにブタジエン生産能力を現行の年産 10 万トンから 13 万 7 千トンへと増強するプロジェクトの EPC を遂行中です。

受注概要

- 客先: チャンドラアスリ・ペトロケミカル (PT Chandra Asri Petrochemical Tbk (CAP))
- 受注者: Toyo-Japan、Toyo-Korea 及び IKPT
- 建設地: インドネシア ジャワ島西部 チレゴン
- 対象設備: ポリエチレン製造設備 (年産 40 万トン)
- 役務内容: 詳細設計、機器資材の調達および工事までの一括請負
Toyo-Japan、Toyo-Korea: 詳細設計、インドネシア国外での調達業務
IKPT: 上記を除く調達・建設業務
- 完成予定: 2019 年

<お問い合わせ先>

広報・IR 部 [担当: 飯田、深沢] TEL: 047-454-1113